

【実践報告】

コロナ禍と学生の課外活動支援

「学生支援プロジェクト事業」の実施を振り返って

白村 直也¹⁾, 脇田 由忠²⁾, 大野 純嗣²⁾, 田草川 祐輔²⁾,
垣内 一志²⁾, 中川 理絵子²⁾, 山田 英樹²⁾

¹⁾ 岐阜大学教育推進・学生支援機構

²⁾ 岐阜大学学務部

要旨

本稿は令和2年度 岐阜大学教育推進・学生支援機構基盤教育センターキャリア教育部会主催「令和2年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業」実施に関する実践報告を記すものである。コロナウィルスの感染拡大が大きな社会問題となる中、感染防止に最大限注意を払いながら、学内募集、中間報告会、そして最終報告会を通じて学生の課外活動を支援してきた経緯をここに振り返る。

キーワード：課外活動，学生支援プロジェクト，基盤的能力，コロナ禍

1. 岐阜大学基盤的能力と課外活動の関わり

岐阜大学は、社会で生涯にわたって高度な専門職業人として活躍するために学生に身につけてほしい力として「基盤的能力」（「考える力」、「伝える力」、そして「進める力」）を掲げている。この力の修得を目指し、正課における授業の実施に並行して学生の多様な自主活動を支援することを通じて各個人の成長を促すことを目的に、正課・正課外を問わず様々な取り組みが全学的になされている。正課外での取り組みとしては、サークル活動をはじめボランティア活動といった学生の自主的な活動を大学として支援する体制作りがなされている。本稿が触れる「学生支援プロジェクト事業」というのは、岐阜大学教育推進・学生支援機構基盤教育センターが執り行う事業の一つであり、そうした学生の自主的な課外活動を経済的に支援するものである。

2. 学生支援プロジェクトの実施とコロナ禍

学生支援プロジェクトは毎年実施される、学生の課外活動を支援する取り組みである。具体的には「学生が創造する学生のための自主的活動を支援し、学生生活の活性化に資するとともに、岐阜大学の学生として共通して身につけてほしい力、すなわち基盤的能力（「考える力」「伝える力」「進める力」）の育成を目的に、魅力ある独創的なプロジェクト事業を支援する」（公募要領）ものである。例年3、4グループのプロジェクトを採択し、上限10万円の支給をもって支援している。支援の対象については公募要領に次のように記されている。

- ① 学生が提案し自ら実施するプロジェクトであること。
- ② 次のいずれかに該当するプロジェクトであること。ただし、その効果が限定的と判断されるものは対象外とする。
 - (ア) 岐阜大学の学生を事業の対象とするもの
 - (イ) 岐阜大学キャンパスを事業（活動）の対象とするもの
 - (ウ) 岐阜大学の公益、共益に資するもの
- ③ 提案者自身の基盤的能力育成が図られるプロジェクトであること。
- ④ 支援対象分野は特に限定しない。
- ⑤ 応募資格は、本学に在学する学生（学部学生・大学院学生）3名以上で構成する団体とする。

例年4月終盤から5月上旬に学内募集を開始し5月に応募を締め切るようにしているが、今年度はコロナウィルスの感染が社会的に拡大し、その影響で課外活動も極力制限される状態が長く続いた。感染予防に最大限注意を払いながら、ようやく実施の運びとなったのは、6月4日（木）になってからのことであった（締め切りは6月30日（火））。学内への周知は全学共通教育事務室と学生会館1階キャリアセンター前の電子モニター、そしてAIMS-Gifu上で実施した（図1、2）。



図1. モニター画面の広告①

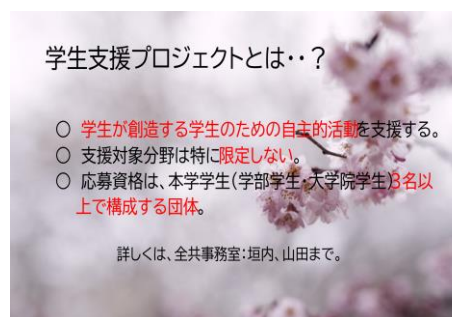


図2. モニター画面の広告②

6月30日の17時に受付を締め切り、計7件の応募を申請書の送付をもって受け付けた。そして申請された各プロジェクトについて、令和2年7月15日（水）15時から全学共通

教育棟1階1C教室にて審査会をすることとなった。会では各グループにプレゼンテーション10分、審査員からの質疑応答5分の15分程度が充てられた。プレゼンテーションには、プロジェクトの内容他、具体的な活動日程、そして必要経費の細目が組み込まれ、以下の観点から各項目3点満点で評価された。○魅力的であるか、○独創性があるか、○実施場所は大学内であるか、○学生が自ら行うものであるか、○岐阜大学の学生を対象としたものであるか、○岐阜大学のキャンパス全体を対象としているか、○岐阜大学の公益、共益に資するものであるか、○提案者の「基盤的能力」育成が意識されているか、○学生3名以上のグループであるか、○事業の実施期間は年度内であるか、○経費の執行期間は、令和3年1月末までであるか、○キーワードに合致しているか（支援対象事業キーワード例示:「キャンパスボランティア」、「広報」、「エコ」、「環境美化」、「マナー啓発」、「学修支援」など）。

今回の学生支援プロジェクトは基盤教育センターキャリア教育部会主催ということで、山田基盤教育センター長他5名に審査員を依頼し、快諾頂いた。

7月15日審査会当日は問題なく進行が進み、どのグループも力のこもったプレゼンを披露してくれた。審査員からは多くの質問が寄せられ、発表者はその都度回答に応じた。予定時間内に審査会は終了し、結果は後日通知することとし、会は閉会となった。後日審査員からのコメントを付した形で、グループ代表者にメールにて結果を通知した。令和2年度は、応募があった以下7グループのうち、1から4の4グループが採択された。

1. 「看たまノート」を用いた医療系学生のためのキャリア支援プログラム¹⁾

活動内容：看護学生を対象に、「自分が将来やりたいことは何か」「卒後、資格を得てからどんな看護を提供したいのか」を考える機会を作るプログラムを設計する。実際には、自己を振り返り、自分の興味関心を深めるワークと、自分の興味のある分野で活躍する看護職の方にインタビューをする。

2. 鷓ヶ池自然再生プロジェクト2020²⁾

活動内容：鷓ヶ池の自然環境の劣化と生物多様性の低下の仕組みを調査や観測結果から分析、検討する。「土壌シードバンク」や「かいぼり」といった具体的な再生方策とその有用性について、順応的管理（仮説・実験・検証）に基づいた科学的な知見から検討する。

3. オンラインで行う学生サポート

活動内容：ウェブサイトやSNS等を用いて、大学を活用するための情報や岐大と岐大生に関係した情報を発信する。その他サイトやSNSを利用して岐阜大学生に役立つ活動を様々に行う。

4. Welcome to Gifu! (岐阜の魅力をお届けるメディア運営)

活動内容：岐阜大学への留学を検討している、もしくはすでに在学中の留学生を主な対象とし、日本語、英語、中国語での多言語での現地レポートや対話、その他役立つコンテンツをホームページやYouTubeを通して世界中に発信する。

5. 大学生と小中学生の勉強会事業

活動内容：近隣の塾に通えない小中学生に対して学びの場を提供するとともに、ボランティアで勉強を教えているという岐阜大学生の活動を世に知らせることで、岐阜大学全体の公益になると考えられる。また、大学生として普段関わりの少ない小中学生との交流の場を作ることができる。

6. iloilo hands

活動内容：まず、第一に東南アジア（フィリピン）に目を向けてもらい、フィリピンで行われている支援活動について知ってもらう。第二に、フィリピンへの支援活動を通して、コロナで影響を受けている生産者を助ける。最後に、フィリピンの貧困層に対しての教育支援を行うためである。

7. お酒の正しい飲み方講座 ウィスキー編

活動内容：はじめにウィスキーに関する歴史や地域による差などの知識について講義する。その際、バーなどで働いている方や酒造・仕入等に関わっている方を講師として招待し、次に試飲をし、講義で習ったことを実際に行うことで理解する。



出典：岐阜大学ホームページ（令和2年9月1日付「お知らせ」より）

図3. 採択通知交付式の模様，挨拶する山田敏弘基盤教育センター長

8月6日（木）にプロジェクトの採択通知交付式が全学共通教育棟1階コモンズ1A教室で開催され、山田敏弘基盤教育センター長から各グループ代表者に採択通知書が交付された（図3）。その後全共事務室より経費の使い方（物品購入の注意点など）について説明があった。またこの模様は9月1日付の「お知らせ」として岐阜大学ホームページ上で公開された³⁾。この交付式をもって、今年度の学生たちのプロジェクトがいよいよ始動した。

3. 中間発表会の開催

採択通知書の交付をもって始動したプロジェクトは、経費の執行については全学共通教育事務室に確認を取りながら進められた。始動した時期が例年に比べて遅かったこともあり、続く中間発表会は令和2年12月2日（水）に同コモンズ1A教室にて15時から開催された（図4）。各グループの代表に再度集まってもらい、採択されて以降のグループの活動内容について15分のプレゼン（発表は10分、質疑応答は5分）を披露してもらった。コロナウィルスの感染が拡大する中、どのグループも感染予防に最大限注意を払いながらも確実にプロジェクトを進めており、会場からはいくつか質問の他、各グループに対して温かい声援が投げかけられた（図4）。この中間発表会の模様は、同月発行の基盤教育センターニュースレター「教養教育 NEWS Vol.33」の「基盤教育センターからのお知らせ」に掲載された（図5）。



図4. 中間発表会の模様

TOPIC
4

基盤教育センターからのお知らせ

令和2年度 学生支援プロジェクト中間発表会の開催

学生の課外活動を支援する学生支援プロジェクトが今年度も始動しています。例年多くのプロジェクト申請を学生グループから受け付け、令和2年度は以下のプロジェクトが採択されました。1. 「看たまノート」を用いた医療系学生のためのキャリア支援プログラム、2. 鷺ヶ池自然再生プロジェクト2020、3. オンラインで行う学生サポート（楽tanΘ）、4. Welcome to Gifu！（岐阜の魅力をお届けするメディア運営）の4チームです。

令和2年12月2日（水）、中間発表会が開催され、各グループは採択されて以降の活動について10分間のプレゼンを行いました。今後の活動にも期待したいと思います。

また、中間発表会に先立って、鷺ヶ池自然再生プロジェクト2020チームが「サステイナブルキャンパス推進協議会2020年次大会（学生活動部門）」で「サステイナブルキャンパス賞2020」を受賞したという吉報も寄せられました。おめでとうございます！（白村）



中間発表会の模様：楽tanΘチーム
オンラインで行う学生サポート

出典：基盤教育センターニュースレター「教養教育 NEWS Vol.33」（令和2年），4頁。

図5. 中間発表会の模様を報じる記事

4. 最終発表会の開催

令和2年度の学生支援プロジェクト事業の最終報告会が令和3年2月16日（火）、13時

よりオンライン（zoom）で開催された。方法は中間発表会と同様とし、各グループで10分間の発表に代えて質疑応答の時間を5分設定した。以下、発表順に最終報告会の模様を書き留める。

1. オンラインで行う学生サポート（抜粋）



図 6. 発表スライド①

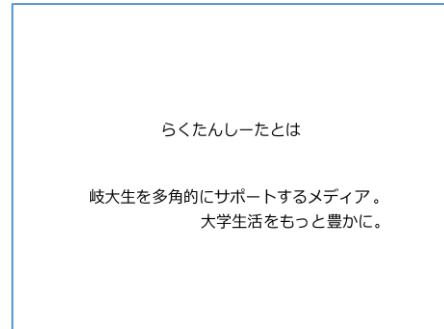


図 7. 発表スライド②



図 8. 発表スライド③



図 9. 発表スライド④

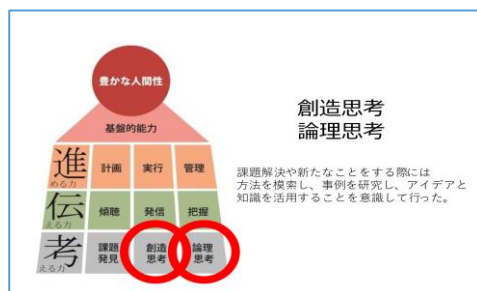


図 10. 発表スライド⑤

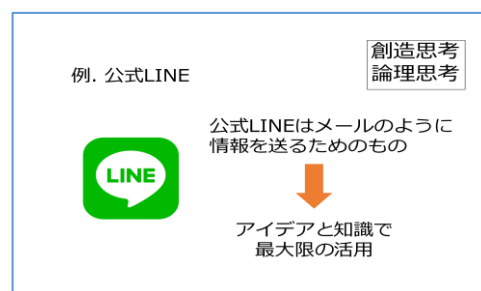


図 11. 発表スライド⑥



図 12. 発表スライド⑦

(審査員からの質問・感想とそれへの回答)

(質問 1) SNS のフォロワーの属性について教えてほしい。

(回答 1) おおよその属性は把握できるが、細かなところまでは分からない。

(感想) 中小の事業所に対して大学がどれだけ注意を向けているのか気になっていたが、この活動はまさにそういう事業所に注意を向けている点で良いと思う。

2. Welcome to Gifu ! (岐阜の魅力をお届けするメディア運営) (抜粋)



図 13. 発表スライド①



図 14. 発表スライド②



図 15. 発表スライド③



図 16. 発表スライド④

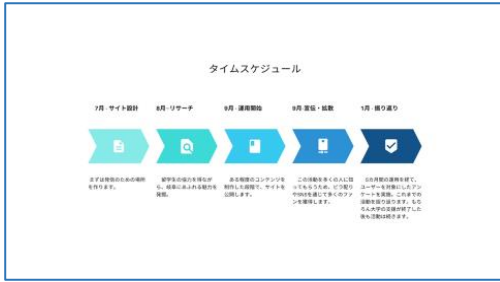


図 17. 発表スライド⑤



図 18. 発表スライド⑥

(審査員からの質問・感想とそれへの回答)

(質問 1) 訪問した場所のカテゴリを教えてください。

(回答 1) 学生中心に周囲の人に地道に聞き取りし、実際に訪れるようにした。メディアに取り上げられていないが、ぜひ行ってもらいたい場所を積極的に取り上げるようにした。

(感想 1) 活動に将来性を感じた。今後も継続して活動してほしい。

3. 鷓ヶ池自然再生プロジェクト 2020 (抜粋)



図 19. 発表スライド①



図 20. 発表スライド②



図 21. 発表スライド③

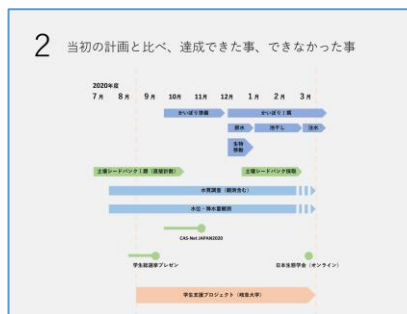


図 22. 発表スライド④



図 23. 発表スライド⑤



図 24. 発表スライド⑥

(審査員からの質問・感想とそれへの回答)

- (感想 1) プレゼンが非常にうまい。学内に成果をもっと広く周知する方が良い。
- (質問 1) 活動に関わっていない人は、今後どのように保全活動に関わっていけば良いのか。
- (回答 1) 今後観察会や参加型のイベントなどの開催を検討している。学内の水流の源流は鶴ヶ池にあるため、普段から注意関心を持ってもらえればと思う。
- (質問 2) 狐が岐阜大学にいるというのは非常に驚いた。校内と鶴ヶ池の水質について教えてほしい。
- (回答 2) 水質は問題ない。ヘドロの除去は必要である。

4. 「看たまノート」を用いた医療系学生のためのキャリア支援プログラム (抜粋)



図 25. 発表スライド①

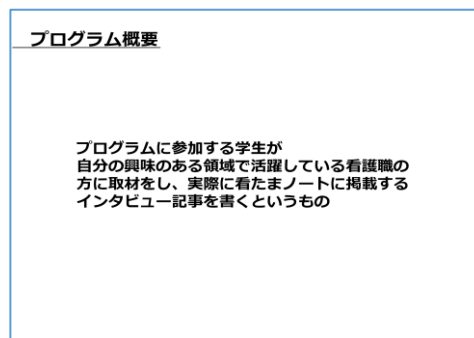


図 26. 発表スライド②

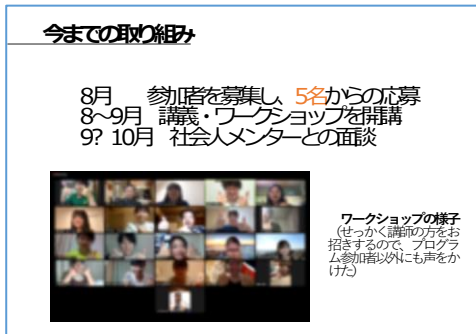


図 27. 発表スライド③

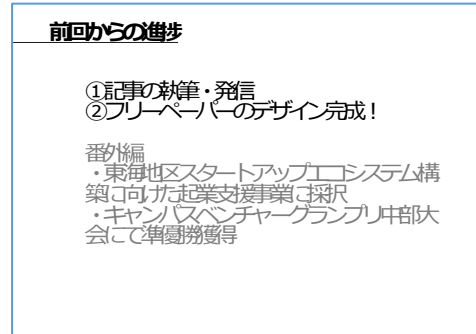


図 28. 発表スライド④



図 29. 発表スライド⑤

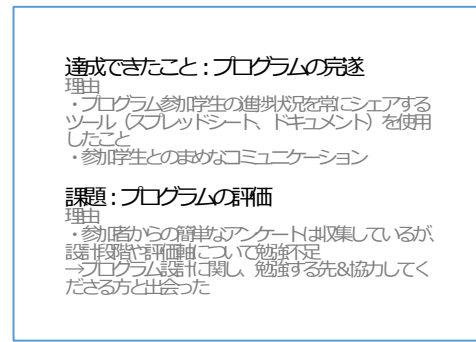


図 30. 発表スライド⑥

(審査員からの質問・感想とそれへの回答)

(質問 1) 看護学科の学生の進路についてどうなっているのか。

(回答 1) 学生は看護師になる以外の選択肢をあまり知らないため、より多くの進路があるということを知ることが大事である。

(質問 2) プログラムの評価について詳しく教えてほしい。

(回答 2) 高校生のキャリア形成に携わっている方との関わりの中で、エッセンス(ヒント)を頂いた。

(感想 1) キャンパスベンチャーグランプリ受賞、おめでとうございます。

(感想 2) 看護師になった後、働く中から「看たまノート」を発展させていくこともできるように思う。

4. おわりに

「令和 2 年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業」はコロナウイルスに大きな影響を受けた。例年 5 月中に学内募集をするが、今年度は 2 か月遅れで学内募集を開始した。厳正な審査を経て 4 グループが採択された。採択されたものの、課外活動が制限されている中でどのグループも自分たちが思うように活動ができなかったように思う。こう

した状況の中で、12月に中間報告会、そして2月に最終報告会を実施した。学生にとっては非常にせわしい活動になったようだ。

最終報告会ではどのグループも客観的に自分たちの活動を振り返り、丁寧に発表してくれた。中には当初の予定通りに活動が進められなかったグループもあったが、外部で賞を受賞しその活動が新聞記事として紹介（註1参照）されるなど、コロナウィルスの影響をものともしない成果を挙げたグループもあり、非常に心強く感じた。基盤的能力の修得をめぐる審査員の方からのコメントは、どれも好意的なものばかりで、このプロジェクト終了後も活動を進めるよう促す声も多かった。ぜひ継続して活動を行い、その成果を学内はもとより、学外にも発信していってもらいたい。

【註】

1. 令和2年12月17日（木）「キャンパスベンチャーグランプリ中部」にて代表の野村奈々子さん（医学部：「看たまノート」を用いた医療系学生のためのキャリア支援プログラム）が2位にあたる特別賞中部経済産業局長賞を受賞した。その活動はめざましく、様々なメディアで取り上げられている。

ここで、他グループを含めその活動について記された新聞記事を記しておく。

プロジェクト名	記事名	掲載新聞	掲載日	頁
「看たまノート」を用いた医療系学生のためのキャリア支援プログラム	看護師多彩な生き方	朝日	2021年4月15日	23面
	「看たま」の道しるべに	岐阜	2021年5月18日	19面
	目指す看護師像考えて	岐阜	2021年5月30日	11面
	看護師の「働き方」発信	毎日	2021年6月13日	23面
オンラインで行う学生サポート	社会問題を「シェア」	岐阜	2021年1月5日	1面
	会えない「新歓」苦戦	岐阜	2021年4月21日	16面

2. 令和2年11月14日（土）「サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）2020年次大会」において、学生活動部門で「サステイナブルキャンパス賞2020」を受賞した。
3. 岐阜大学ホームページ令和2年9月1日付「お知らせ」
[<https://www.gifu-u.ac.jp/news/news/2020/09/entry01-10256.html>]（令和3年1月29日閲覧）

【参考資料】

1. 岐阜大学基盤教育センターニュースレター「教養教育 NEWS VOL.33号」令和2年12月発行。